

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 静岡県ベトナム人協会

1. 事業名称 「平成25年度 静岡県ベトナム協会 在日ベトナム人生活者のための日本語教育推進事業」

2. 事業の目的 本事業は、静岡県に在住する在日ベトナム人を対象とし、日常生活を営む上で必要となる日本語能力等を習得できるように、静岡県浜松市の実情に応じた日本語教育実践プログラムを行うことを目的とする。

3. 事業内容の概要

- 1、在日ベトナム人を対象として、入門、初級、中級と3段階のレベルに分け、各クラス15人程度の人数で、日本語講師とバイリンガル講師により、「生活者のための日本語教育」を実施する。
- 2、日本語教育の専門家の方と協力し、「日本語教育」を実施している日本語講師向けに「生活者のための日本語教育」を行う人材研修を実施する。
- 3、在日ベトナム人を対象とし受講者の実情に合わせた学習教材を、日本語講師とバイリンガル講師が協力して作成する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 6月16日 16:00～ 18:00	2時間	カトリック三方 原教会	青山利幸、袴田 麻里、古橋楓、山 田明、菊地奈々 子、ドービン、 ドーティヒエン、 西崎稔	(1) 運営委員、日本語講師の紹介、 (2) 日本語教育事業の方針について (3) 日本語教育事業計画の説明 (4) 今後の課題検討	日本語教育事業の方針と事業計画を 了承。浜松に來日するベトナム人の増 加に伴う連絡方法が課題。日本語教 師の人材育成の講座への集客方法の 検討。
2	平成25年 9月26日 16:00～ 18:00	2時間	カトリック三方 原教会	青山利幸、村田 和彦、古橋楓、山 田明、菊地奈々 子、ドービン、 ドーティヒエン、 鈴木ちひろ、西崎 稔	(1) 日本語講師、バイリンガル講師の紹介 (2) 日本語教育事業の現状報告 ・日本語教室、人材育成講座、文化庁日本語教育 大会 (3) 日本語教育事業の検討(意見交換) (4) 日本語教育事業の今後の予定	日本語教室で昨年度受講者の参加が 少ないことが報告。日本語講座への参 加者を増やす方法を検討。日本語教 師の人材育成の講座の報告と参加呼 びかけの方法検討。
3	平成25年 11月17日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	青山利幸、袴田 麻里、村田和彦、 古橋楓、山田明、 菊地奈々子、ドー ティヒエン、鈴木 ちひろ、西崎稔	(1) 今年度の日本語教育事業の報告ならびに今後の 予定 ・日本語教室事業 ・日本語教師のための講座 ・日本語テキスト作成 (2) 今年度、日本語教育事業の反省、検討(意見交 換) (3) 来年度、日本語教育事業について	今年度日本語教育事業の日本語教育 事業について了承。日本語教室におい て受講者の減少が課題。来年度は交 通手段などを検討。人材育成の講座 は内容は良かったが、集客が課題。

5. 日本語教室の実施

- (1) 講座名称 平成25年度 静岡県ベトナム協会 在日ベトナム人生活者のための日本語教室
「生活者のための日本語教育」のプログラムにおいて、地域社会で通用する日本語でのコミュ
- (2) 目的・目標 ニケーションの方法を学ぶことによって、各学習者が自分の希望する、「日本語を用いたコミュ
ニケーション」のレベルに達することを目標とする。
- (3) 対象者 成人した在日ベトナム人を中心とするが、他の外国人の受講も可能。日本語の学習履歴も問
わない。
- (4) 開催時間数(回数) 60 時間 (全 30 回)
- (5) 使用した教材・リソース 自作教材、文化庁「標準的なカリキュラム案 教材例集」
- (6) 受講者の総数 28 人 (中級 10名、初級 10名、入門 8名)
(出身・国籍別内訳 ベトナム 28名)
- (7) 日本語教室の具体的内容
入門、初級、中級と3段階のレベルに分け、「生活者のための日本語教室」を実施。

<中級クラス>

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年 6月9日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	10人	ベトナム (10人)	自己紹介&あいさつ	初対面のあいさつの仕方。丁寧な言い方。お互いに質問しあう。紙に質問の答えを書く。漢字の練習:自分の住所を書くなど。	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
2	平成25年 6月13日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	7人	ベトナム (7人)	引越しのあいさつ	引っ越した時の近所へのあいさつや習慣を学ぶ漢字の練習:家族に関連した漢字	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
3	平成25年 6月16日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	近所へのあいさつ ごみの出し方を尋ねる	文型 どこに出したらいいですか。 出さないでください。	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
4	平成25年 6月20日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	7人	ベトナム (7人)	誘って断る	文型:～から(理由)・どうして～(理由を尋ねる) アクティビティ:誘って断る	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
5	平成25年 6月27日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	ごみの出し方確認	4月から変わったごみの出し方確認 文型:～ておく	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
6	平成25年 6月30日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	7人	ベトナム (7人)	回覧板を回す 近所の人とのつながり	コミュニケーションに大切なことは何か考える 回覧板を渡すときの会話、資源物回収	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
7	平成25年 7月4日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	家族の紹介・人との 付き合いについて	家族の紹介・人との付き合いについて話し合う。 漢字の練習:家族	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
8	平成25年 7月7日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	地域の行事:七夕	七夕について話す・短冊に願いを書く 遠距離恋愛について 意見を述べる 浜松	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
9	平成25年 7月11日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	近所の人と話そう	文型:～ば～ほど／～ています コミュニケーションに大切なものを話し合う 回覧板を読む	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
10	平成25年 7月14日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	いろいろなあいさつ	基本的あいさつを復習(今期新しい生徒だったのでこれまでの復習もかねて) 漢字の練習:ごみに関するお知らせの読み書き	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
11	平成25年 7月18日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	7人	ベトナム (7人)	地域の行事:夏祭り	文型: よかったら～にいきませんか、～を食べに行きませんかなど / いっしょにどうですか 『夏祭りのお知らせ』を読む	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
12	平成25年 7月21日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	夏休みの予定など	文型: ～つもり 夏祭りを絵や写真で説明 漢字の練習:季節に関する漢字	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
13	平成25年 7月25日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	自分の行動予定	行きます・来ます・帰ります の導入 ～から～までです。(仕事は～など)	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
14	平成25年 7月28日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	防災のこと	防災に関するパンフを読む 地震が起きたら、どうしますか。それぞれの場所にいたときの対処法。	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
15	平成25年 9月8日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	地震(災害)	防災パンフ(やさしい日本語)を用いて、防災用品や家具固定など、日頃の用意について話す。	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
16	平成25年 9月12日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	地震(災害)	地震についての注意をベトナム語と照らし合わせながら読む。 避難地・消火器・非常口など写真と言葉を結びつける。	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
17	平成25年 9月15日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	119番と110番	先週の台風を話題にする。 火事ですか、救急ですか(119番に電話する) 泥棒に入って110番に電話する	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
18	平成25年 9月19日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	7人	ベトナム (7人)	病気とケガ	体の調子を尋ねる&言う(絵を見て会話を想像する) ・～したほうがいい ・お大事に、など あいさつ *健康診断の話	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン

19	平成25年 9月22日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	病気の症状・薬につ いて	文型:～んです 頭痛など症状を言う 薬の飲み 方(食前・食後)体の部位(漢字 といっしょに)	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
20	平成25年 9月25日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	病院にて	病院の受付→診察→薬局(絵 を見て会話を想像) 医者と患 者の役になって会話 文型:～てから／～の前に 複文の練習	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
21	平成25年 9月29日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	病院まとめ	病院での経験を聞く 科の種類および何科へ行くか 文型:～にくい／～やすい	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
22	平成25年 10月3日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	病院まとめ	問診表の記入(言葉の説明) 健康チェック(予防のために)	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
23	平成25年 10月6日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	イベントの計画	計画には何を決めるべきか話し 合う 情報を得る(宿題…ネットなどで 調べてくる)お弁当の内容につ いて話す	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
24	平成25年 10月10日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	お勧めの場所	どこかいいところはありますか (行ったことのあるところでお勧 めの所を友達に教える) お勧めの理由を言う	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
25	平成25年 10月13日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	料理の紹介	カレーの作り方を紹介 調理 用語 得意な料理を教える 文章に書 く	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
26	平成25年 10月17日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	行ってみよう 調べて みよう	紅葉の情報(資料)や施設のパン フを読む 営業日・営業時間・駐車場など の用語 漢字を知る	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
27	平成25年 10月20日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	行き方を調べる	行きたいところを決める(目的 地)→どういかに調べる(バスや 車で) 地図を見る 文型:〇〇へ行きたいんです が……	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
28	平成25年 10月24日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム (5人)	文化の日の計画を 立てる バスの乗り 方	バスの乗り方(整理券を取る・降 車ボタン・運賃表を見る・両替の 仕方・時刻表) 道を尋ねる	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
29	平成25年 10月31日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム (6人)	道案内	文型:行き方を教えてください／ どうやって行ったらいいですか ／今、どこにいますか(場所を 尋ねる／友達に電話して居場 所を言う)	菊地奈々子	ドー ティ ヒエン
30	平成25年 11月3日 10:00～ 15:00	5時間	浜松駅周辺市 街地	5人	ベトナム (5人) (入門、 初級合 同)	日本の文化に親しむ	文化の日に町へ繰り出す・茶 道体験(松韻亭) 楽器 博物館にて世界の楽器に触れ る バスに乗る	菊地奈々子	

<初級クラス>

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年 6月9日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	10人	ベトナム 人(10人)	自己紹介&あいさつ	あいさつの表現、簡単な自己紹 介の仕方を覚える。(単語、文 型、例文で学ぶ)	西崎 稔	ドー ビン
2	平成25年 6月13日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	9人	ベトナム 人(9人)	身の回りの様子、感 想	身の回りの様子、感想がいえ る。 文型:～です。～じゃないです。	西崎 稔	ドー ビン
3	平成25年 6月16日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	8人	ベトナム 人(8人)	好き、きらいを話す	好き、きらいがいえる。上手、 下手がいえる。 文型:～が好きです。～がきら いです。	西崎 稔	
4	平成25年 6月20日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	7人	ベトナム 人(7人)	わかる、わからない を話す	わかる、わからないがいえる。 文型:～がわかります。～がわ かりません。	西崎 稔	

5	平成25年 6月27日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	7人	ベトナム 人(7人)	自分の住んでいる環 境を話す	自分の家にあるもの、教室にあ るものを話す。 文型:～があります。～がいま す。	西崎 稔	ドービン
6	平成25年 6月30日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	8人	ベトナム 人(8人)	自分の住んでいる環 境を話す	自分の家にあるもの、教室にあ るものを話す。 文型:～があります。～がいま す。	西崎 稔	ドービン
7	平成25年 7月4日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	数量、時間、人数の 言葉を使って話す。	日常会話で用いる数量の表現 を使って会話をする。 文型:～を～つください。～に～ 人います。	西崎 稔	ドービン
8	平成25年 7月7日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	8人	ベトナム 人(8人)	数量、時間、人数の 言葉を使って話す。	日常会話で用いる数量の表現 を使って会話をする。 文型:～を～つください。～に～ 人います。	西崎 稔	ドービン
9	平成25年 7月11日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム 人(5人)	過去の出来事の感 想を話す	昨日の出来事の感想を話す 文型:きのうは、～でした。きの うは、～かったです。	西崎 稔	ドービン
10	平成25年 7月14日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	過去の出来事の感 想を話す	昨日の出来事の感想を話す 文型:きのうは、～でした。きの うは、～かったです。	西崎 稔	ドービン
11	平成25年 7月18日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	身近なことを比較し て話す	身近なことを比較して会話練 習。 文型:～の方が～です。	西崎 稔	ドービン
12	平成25年 7月21日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム 人(5人)	今までの復習	聞き取りクイズ、実際の会話を 聞いて、わかるようになる。実際 の会話練習。	西崎 稔	ドービン
13	平成25年 7月25日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム 人(5人)	今までの復習	聞き取りクイズ、実際の会話を 聞いて、わかるようになる。実際 の会話練習。	西崎 稔	ドービン
14	平成25年 7月28日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム 人(5人)	欲しいもの、したい事 を話す。	欲しいもの、したい事が言える。 文型:～が～欲しいです。～たい です。	西崎 稔	ドービン
15	平成25年 9月8日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	8人	ベトナム 人(8人)	欲しいもの、したい事 を話す。	欲しいもの、したい事が言える。 文型:～が～欲しいです。～たい です。	西崎 稔	ドービン
16	平成25年 9月12日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	依頼、指示の会話	簡単な依頼、指示ができる。 文型:～てください。～ましょうか	西崎 稔	ドービン
17	平成25年 9月15日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	依頼、指示の会話	簡単な依頼、指示ができる。 文型:～てください。～ましょうか	西崎 稔	ドービン
18	平成25年 9月19日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	8人	ベトナム 人(8人)	許可、禁止の会話	許可を求めることができる。禁 止されていることがわかる。 文型:～もいいですか。～はい けません。	西崎 稔	ドービン
19	平成25年 9月22日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	許可、禁止の会話	許可を求めることができる。禁 止されていることがわかる。 文型:～もいいですか。～はい けません。	西崎 稔	ドービン
20	平成25年 9月25日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	日頃の行動を話す	順を追って、自分の行動を話 す。 文型:～して、～します	西崎 稔	ドービン
21	平成25年 9月29日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	日頃の行動を話す	順を追って、自分の行動を話 す。 文型:～して、～します	西崎 稔	ドービン
22	平成25年 10月3日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	人への依頼、指示	人に依頼、指示ができる。規則 を理解する。 文型:～しないでください。～し なければなりません。	西崎 稔	ドービン
23	平成25年 10月6日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	人への依頼、指示	人に依頼、指示ができる。規則 を理解する。 文型:～しないでください。～し なければなりません。	西崎 稔	ドービン
24	平成25年 10月10日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	できること、できない ことを話す	自分の能力を話す。可能性につ いて聞いてみる。 文型:～ができます。～ことがで きます。	西崎 稔	ドービン
25	平成25年 10月13日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	できること、できない ことを話す	自分の能力を話す。可能性につ いて聞いてみる。 文型:～ができます。～ことがで きます。	西崎 稔	ドービン
26	平成25年 10月17日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム 人(5人)	経験を話す	経験したことを話す。 文型:～したことがあります。	西崎 稔	ドービン
27	平成25年 10月20日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム 人(5人)	経験を話す	経験したことを話す。 文型:～したことがあります。	西崎 稔	ドービン

28	平成25年 10月24日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム 人(5人)	友達と話す。	友達と普段のことば(普通体)で 話してみる。 文型:普通体	西崎 稔	ドーピン
29	平成25年 10月31日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム 人(6人)	友達と話す。	友達と普段のことば(普通体)で 話してみる。 文型:普通体	西崎 稔	
30	平成25年 11月3日 10:00～ 15:00	5時 間	浜松駅周辺市 街地	5人	ベトナム (5人) (入門、 初級合 同)	日本の文化に親しむ	文化の日に町へ繰り出す・茶 道体験(松韻亭) 楽器 博物館にて世界の楽器に触れ る バスに乗る	西崎 稔	ドーピン

<入門クラス>

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年 6月9日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	8人	ベトナム	ひらがな	日本語の理解度の調査(全くわ からないとの事) ひらがなの学習	山田 明	
2	平成25年 6月13日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム	あいさつ	ひらがなの復習。おはようござ います、こんにちは、こんばんは 等の基本的なあいさつ。実際の 場面を設定し、練習した。	山田 明	
3	平成25年 6月16日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	きょうしつのことば	あいさつの復習。みてください、 よんでください。書いてくださ い等、教室でのことばを、実際 に用いて練習	山田 明	
4	平成25年 6月20日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	なんですか、	きょうしつのことばの復習。「(指 さして)なんですか。～です。」の 練習。単語をいろいろ学習。	山田 明	
5	平成25年 6月27日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	～です。～じゃない です。	「なんですか。」の続き。はい、 いいえで答えて、～じゃないで す。～です。まで練習	山田 明	
6	平成25年 6月30日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	だれですか。	「(指さして)だれですか。～さん です。」の練習。写真や絵をみ て練習。	山田 明	
7	平成25年 7月4日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	これは、だれのです か この～は、だれのです か	「これ、あれ、それ」を用いて、だ れのですかの練習。	山田 明	
8	平成25年 7月7日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	すうじ	0から10000までのすうじ、 ゆっくり発音して練習	山田 明	
9	平成25年 7月11日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	いくらですか	お金を用いて、いくらですか。簡 単な買物の練習。	山田 明	
10	平成25年 7月14日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	なんじですか	時刻のいいかた(～じ～ふん) の練習。時計を用いて練習	山田 明	
11	平成25年 7月18日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	～は、なんじからな んじですか	時刻のいいかたの復習。～は ～じから～じまでです。の練習	山田 明	
12	平成25年 7月21日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	カレンダー	ついたちからさんじゅういちにち までの日のいいかた。月、曜 日の言い方。	山田 明	
13	平成25年 7月25日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	かぞく	カレンダーの復習、かぞくの言 い方	山田 明	
14	平成25年 7月28日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	これ～です。これ、そ れ、あれ	これ、それ、あれ、の言い方。実 際の場面を想定し、使い方を学 ぶ	山田 明	
15	平成25年 9月8日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	6人	ベトナム	買い物(～をくださ い)	ものを示して、買物の練習。いく らですかの練習	山田 明	鈴木ちひろ
16	平成25年 9月12日 19:00～ 21:00	2時 間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	課外活動	紅葉を見る(日本の風景を撮 る)・食べ物やお土産を買う	山田 明	鈴木ちひろ

17	平成25年 9月15日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	かぞえかた	ものの数え方を練習(ひとつからとうまで。～まい、～さつも教える)	山田 明	鈴木ちひろ
18	平成25年 9月19日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	～を～つください。	実際の買物を想定し、この～を～つください。いくらですか。ま で言えるようにする。	山田 明	鈴木ちひろ
19	平成25年 9月22日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	これは～の～ですか	「これは、だれの～ですか」 「～さんの～です」を用いた練習	山田 明	鈴木ちひろ
20	平成25年 9月25日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	4人	ベトナム	動作(～をする、～ま せん)	いろいろな動作を、さまざま動 詞でいってみる。	山田 明	鈴木ちひろ
21	平成25年 9月29日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	～ますか。～ます。	動詞の復習の後、にちようび～ ますか。～ません。のような会 話を練習	山田 明	鈴木ちひろ
22	平成25年 10月3日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	どこへ～ますか	どこへいきますか。のような場 所を尋ねる言い方の練習	山田 明	鈴木ちひろ
23	平成25年 10月6日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	5人	ベトナム	～へいきます。～に いきます。～といきま す。	場所十へいきます、時刻(～じ) 十に行きます。人(～さん)と行 きますの練習	山田 明	鈴木ちひろ
24	平成25年 10月10日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	4人	ベトナム	ぼくのいちにち	いろいろな動詞を用いて、あさ ～ます。昼～ます。など一日を 話す練習	山田 明	鈴木ちひろ
25	平成25年 10月13日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	4人	ベトナム	なにがありますか。 ～に～があります。	～に～があります。を用いて、 部屋の中にあるものを言う。	山田 明	鈴木ちひろ
26	平成25年 10月17日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	3人	ベトナム	おおきい、ちいさい	いろいろな形容詞を学びなが ら、文をつくってみる。	山田 明	鈴木ちひろ
27	平成25年 10月20日 14:00～ 16:00	2時間	カトリック三方 原教会	4人	ベトナム	たのしくないです。ひ まじやないです	形容詞の否定形も用いて、身の 回りのことを会話する。	山田 明	鈴木ちひろ
28	平成25年 10月24日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	3人	ベトナム	きのう～ました。 きのう～ませんでした。	過去形を用いて、過去にあった ことをいろいろ話す。	山田 明	鈴木ちひろ
29	平成25年 10月31日 19:00～ 21:00	2時間	カトリック三方 原教会	4人	ベトナム	季節、月、週間、月、 日	季節、月、週間、月、日などの 単語を学んで、会話をおこなう。	山田 明	
30	平成25年 11月3日 10:00～ 15:00	5時間	浜松駅周辺市 街地	5人	ベトナム (5人) (入門、 初級合 同)	日本の文化に親しむ	文化の日に町へ繰り出す・茶 道体験(松韻亭) 楽器 博物館にて世界の楽器に触れ る バスに乗る	山田 明	鈴木ちひろ

(8) 受講者の募集方法

静岡県ベトナム人協会の連絡網(電話、メール、直接)を用いて日本語教室の開催を告知。
浜松国際交流協会のホームページに記載して告知。

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

・平成25年9月3日 (中級のみ) 防災パンフの活用 (やさしい日本語)

静岡県国際交流協会(静岡県)から配布された防災パンフを用いて、防災用品や家具固定など、日頃の用意について話しあった。やさしい日本語で記載されているので、ベトナム語で理解するのではなく、日本語で理解する事ができた。



・平成25年11月3日（中級、初級、入門）日本の文化に親しむ

文化の日に浜松駅周辺に実際に行き日本語を用いて活動を行った。日本文化に触れるということで、松韻亭にて茶道体験を行った。楽器博物館にて世界の楽器に触れてみた。帰りは、バスに乗って実際の乗り方、運賃の払い方などを学んだ。



(10) 目標の達成状況・成果

・今年度は、各学習者が自分の希望する、「日本語を用いたコミュニケーション」のレベルに達することを目標にし、授業の最初の段階において、各個人のコミュニケーションのレベルを各講師に記録してもらい、講座終了時に、どのくらいコミュニケーションのレベルが上がったか、受講者へのアンケートと、各講師へのヒヤリングで評価した。中級、初級、入門共に、講座開始時よりレベルは上がったが、目標としていた普通の日本人とうまくコミュニケーションがとれるレベルには達していない受講者が少なかった。

来年度は、最初のレベルの設定、コミュニケーションレベルの測定法を含め、改善する必要があると感じた。

(11) 改善点について

・生活者のため知識を学ぶ上で、関心の度合いに差があり、途中で、クラスを変更したり、欠席する様な受講者がいた。受講者の関心を全て満たす事は難しいので、語学のレベルで分けるのではなく、関心のある内容でクラスを分けることも検討したい。

・コミュニケーションの評価方法を、「人材育成」の講座で習ったので、来年度からは、その方法を用いて評価できるようにしたい。

・交通手段がないため、木曜日の夜のクラスに来ることが出来ないという受講者が複数いた。車での乗り合いなどを行っている受講者もいるので、受講者全体に広げる形で検討したい。

・日常生活で用いられている漢字の読み書きを学びたい要望が多いので、プリントの配布など、家で学習できるような方法を考えたい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 平成25年度 静岡県ベトナム協会 『生活者としての外国人』に対する日本語教師のための講座
- (2) 目的・目標 「生活者のための日本語教育」における日本人教師が、日頃行っている日本語の指導に対する疑問や理解できない点、悩みを日本語教育の専門家の方をお招きして、話を聞き対話することによって、解決することを目標とする。
- (3) 対象者 「生活者としての外国人のための日本語教育」を実際に教えている日本語教師、バイリンガル教師、地域日本語コーディネーター
- (4) 開催時間数(回数) 30 時間 (全 10 回)
- (5) 使用した教材・リソース
- (6) 受講者の総数 16 人
(出身・国籍別内訳 日本 14人, ベトナム 2人)
- (7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年 7月6日 13:30~ 16:30	3時間	クリエート浜松	16人	日本(14人)、ベトナム(2人)	世界の日本語教育のいまと日本のこれから	(1) 言語教育界のパラダイム・シフト (2) パラダイム・シフトを考えた研究動向	西原 鈴子	

2	平成25年 7月13日 13:30～ 16:30	3時 間	浜松国際交流 協会(HICE)	11人	日本(10 人)、ベ トナム(1 人)	世界の日本語教育 のいまと日本のこれ から	(3) CEFRとその波及効果 (4) 日本国内の動き	西原 鈴子	
3	平成25年 7月20日 13:30～ 16:30	3時 間	クリエート浜松	10人	日本(10 人)	多文化共生社会の 基盤づくりとしての 「生活者としての外 国人」に対する日本 語教育の実践	1、多文化共生社会の基盤づく りとしての「生活者としての外国 人」に対する日本語教育 2、言語学習理論と指導法	岩見 宮子	
4	平成25年 7月27日 13:30～ 16:30	3時 間	浜松国際交流 協会(HICE)	10人	日本(10 人)	多文化共生社会の 基盤づくりとしての 「生活者としての外 国人」に対する日本 語教育の実践	3、文化庁の生活者のための日 本語教育の実際 1) 活動の方法 2) 活動の流れ(教案) 3) 教材紹介・作成 4) 日本語能力評価 5) 日本語指導力評価	岩見 宮子	
5	平成25年 9月14日 13:30～ 16:30	3時 間	クリエート浜松	7人	日本(7 人)	生活者のための日 本語講座のコースデ ザイン	・コースデザインに必要な情報 レディネスとビリーフ、学習 ニーズ、学習項目、教授法、教 材	袴田 麻里	
6	平成25年 9月21日 13:30～ 16:30	3時 間	クリエート浜松	7人	日本(7 人)	生活者のための日 本語講座のコースデ ザイン	・文法積み上げ方式でないコース デザインの方法 誰に教えるのか、何を教える のか 4つの技能の何を行うのか、 どのように教えるのか	袴田 麻里	
7	平成25年 10月5日 13:30～ 16:30	3時 間	クリエート浜松	6人	日本(6 人)	生活者としての外国 人に日本語を教える 意味	1. 日本での日本語教育 2. 海外での日本語教育 3. 海外で日本語を教えるという 意味	長島 千夏	
8	平成25年 10月19日 13:30～ 16:30	3時 間	クリエート浜松	7人	日本(10 人)、ベ トナム(1 人)	生活者としての外国 人に日本語を教える 意味	4. 日本語を、日本と海外で教え ることの違い 5. カリキュラムを作ってみよう	長島 千夏	
9	平成25年 10月25日 9:00～ 12:00	3時 間	静岡文化芸術 大学	5人	日本(5 人)	日本における多文化 共生社会を目指す日 本語教育とは？	静岡文化芸術大学学生による 授業、ならびに授業の解説(会 話と作文の2時間)	広瀬 英史	静岡文化芸術大学 学 生
10	平成25年 10月26日 13:30～ 16:30	3時 間	静岡文化芸術 大学	9人	日本(8 人)、ベ トナム(1 人)	日本における多文化 共生社会を目指す日 本語教育とは？	1. JFL と JSL 2. グローバルエラーとローカル エラー 3. プロンプトとリキャスト 4. インタラクション	広瀬 英史	

(8) 受講者の募集方法

浜松市多文化共生事業として、浜松市広報、多文化共生事業パンフレットにて告知。
 浜松国際交流協会の後援事業として、浜松国際交流協会の広報、浜松国際交流協会のホームページに記載して告知。
 浜松国際交流協会の日本語団体のメーリングリストにて告知。
 浜松日本語学院、ヒューマンアカデミー浜松校、浜松国際交流協会にてパンフレット配布。

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

・平成25年10月5, 19日 JICCA 浜松 長島千夏先生
 日本と海外で日本語教育をされている長島先生の実体験に基づく講義。
 海外で日本語を教える場合にも、語学留学を目指す学生に教えるのと、学校の選択教科の一つとして日本語を教える場合では、全く目的が異なる。
 日本において、生活者としての外国人が何を求めて、日本語教室に通っているのかわかって、カリキュラムを設計することが基本。
 日本語教師は、ひとりひとり、日本語だけでなく日本の文化を伝える親善大使という説明が印象的であった。



・平成25年10月26日 静岡文化芸術大学 広瀬英史 先生
 前日の学生による授業を踏まえ、生活者として浜松にいる外国人教える際のポイントをキーワードを用いて説明。
 例えば、グローバルエラー(コミュニケーションに支障をきたすエラー)か、ローカルエラー(コミュニケーションに支障をきたさないエラー)か見極め、生活者として日本語を学ぶ場合ローカルエラーはよしとして教えることが大切との事。



(10) 目標の達成状況・成果

・日頃行っている日本語の指導に対する疑問や理解できない点、悩みを解決することを目的とし、アンケートにて成果を検証した。
アンケート結果から 受講者の全員にとって満足できる研修であったとの評価をいただいた。研修中は、少人数であったため、講義や実習を進めながら、質疑応答が可能であり、理解し納得しながらの研修であったため、高評価になったと思う。

(11) 改善点について

・浜松市と浜松国際交流協会の後援を得て、最大限の広報活動を実施したが、他の実施団体の研修に比べ、人数が少ない結果となった。来年度は、開催時期と、開催時間、開催場所を考慮したい。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 浜松 暮らしの中の日本語 2 (ベトナム語版)

(2) 対象 在日ベトナム人の日本語が中級レベルの受講者を対象とする。母語はベトナム人だが、初級のベトナム人でわかるような翻訳を追加。

(3) 目的・目標 平成24年度に引き続き、教材の少ない生活者としての在日ベトナム人を対象とした地域にかかわる日本語教材の作成を目標とする。

(4) 構成・総ページ数 全64ページ

第1課	あいさつ、自己(じこ)紹介(しょうかい)の仕方	2
第2課	地域(ちいき)の活動(かつどう)に参加(さんか)する	6
第3課	防災(ぼうさい)訓練(くんれん)に参加(さんか)する	14
第4課	住居(じゅうきょ)を管理(かんり)する	20
第5課	郵便(ゆうびん)を利用(りよう)する	24
第6課	余暇(よか)を楽(たの)しむ	32
第7課	バスを利用(りよう)する	38
第8課	タクシーを利用(りよう)する	42
第9課	電話(でんわ)をかけてみる	48
第10課	インターネットを利用(りよう)する	56
第11課	金融(きんゆう)機関(きかん)を利用(りよう)する	63

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 12月8日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	菊地奈々子、西 崎 稔、山田 明	編集会議 (各担当に基く検討結果の発表と打ちわ せと調整)	テキスト、目次、本文(会話、活動内 容、ことば)、翻訳箇所、ページ割、必 要な写真、原稿の決定
2	平成25年 12月29日 14:00～ 16:00	2時 間	カトリック三方 原教会	菊地奈々子、西 崎 稔、山田 明	編集会議 (編集、校正結果と印刷、製本の打ち合 わせ)	修正、校正した内容の確認、翻訳の確 認、印刷、製本作業分担

(6) 使い方

生活者のための日本語講座 中級クラステキストとして使用

(7) 具体的な活用例 (例) 日本語学習者以外の生活における活動の手引書として活用。

(8) 成果物の添付 別途 CD-R にて提出

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

本事業は、静岡県に在住する在日ベトナム人を対象とし、日常生活を営む上で必要となる日本語能力等を習得できるように、静岡県浜松市の実情に応じた日本語教育実践プログラムを行うことを目的とする。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

静岡県西部地区における在日ベトナム人は、約千人在住しており、彼ら全てが日常生活を営む上で必要となる日本語能力を習得しているとはいえないのが現状である。しかし、毎年、この日本語事業を継続することにより、若者を中心にある程度の日本語によるコミュニケーション能力を身につけており成果があがっている。

今年度は、「標準的なカリキュラム案」に基づくプログラムの2年目であり、昨年度も実施した災害、防災訓練、買物、乗り物の利用など、一定の範囲の目的については理解されたといえる。

しかし、今年度、彼らの要望として、運転免許の取得、携帯電話の購入(プラン比較など)、日本語講師だけでは対応しにくい点への要望が出てきた。

来年度以降、企業や自治体(行政)を含め、彼らの要望に答えられるような協力体制を考える必要があると考える。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

「標準的なカリキュラム案」に基づく日本語講座の開催は、当協会では2年目であり、計画、授業の実施、テキストの作成の分野でなど、問題なく実施できる状態になったといえる。

受講者と指導者の評価については、今年度の人材育成の講座で解説していただき始めて理解した段階であり来年度以降、実施していきたいと思う。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

今年度、人材育成の講座において、浜松市の多文化共生事業として認められ、市の広報に掲載されるなど一般の人にも告知できる機会が得られた。そのことにより、多くの方が、当協会の事業を知ることになり、理解が得られたと考える。今後も、浜松市や浜松国際交流協会と協力しながら事業をすすめたいと考える。また、人材育成の講座において、静岡文化芸術大学での講義という協力関係を得られることができた。今後、このように大学等の教育機関とも協力して活動を行いたいと思う。

(5) 改善点、今後の課題について

・人材育成講座の開催に向けて他の日本語団体との協力

浜松市において文化庁の日本語の教育事業をおこなっている団体は、今年度8団体あり、それぞれ協力し合いながら活動を行っている。今後の課題として、人材育成講座の開催にあたり、それぞれの団体と日程、場所、集客など共通の悩みがあることから協力して開催できないか検討していく。

当協会のように小さい団体においては、人材育成講座の開催にあたっての工数が負担になっておりその負担軽減策を来年度に向けて考えていきたい。

(6) その他参考資料

『生活者としての外国人』に対する 日本語教師のための講座 (前期)

日本語教師の皆さん、ならびに、日本語教育に興味を持っている皆さんへ

文化庁の受託事業として、静岡県ベトナム人協会では、下記要領で、
日本語教師のための講座を開催いたします。

「生活者としての外国人」の方に どのように日本語を教えていくべきか、
西原鈴子先生ならびに 岩見宮子先生と いっしょに学びませんか。

皆様のご参加をお待ちしています。

記

○ プログラム (前期 全4回)

- 第1回: 7月 6日(土) 13:30~16:30 担当:西原鈴子 先生
- 第2回: 7月13日(土) 13:30~16:30 担当:西原鈴子 先生
- 第3回: 7月20日(土) 13:30~16:30 担当:岩見宮子 先生
- 第4回: 7月27日(土) 13:30~16:30 担当:岩見宮子 先生

○場所: クリエイト浜松 (浜松市中区早馬町2番地の1 TEL 053-453-5311)

○講師: 西原鈴子 先生 (国際交流基金 日本語センター所長)
岩見宮子 先生 (国際日本語普及協会 理事)

○対象: 日本語教育に興味のある方なら誰でも

○定員: 各回 30名 (先着順)

○入場料: 無料 ※要参加予約 (当日の午前中までにご予約ください)

○申込方法: 参加ご希望の方は、お名前と連絡先、所属を電話またはメールにて
ご連絡願います
TEL:***-****-****(担当) E-mail

○主催: 静岡県ベトナム人協会

○問合せ先: TEL:***-****-****(担当)



『生活者としての外国人』に対する 日本語教師のための講座（後期）

日本語教師の皆さん、ならびに、日本語教育に興味を持っている皆さんへ

「生活者としての外国人」の方に 具体的にどのように日本語を教えたらよいのか、実際の教え方、活動例を、いっしょに学びませんか。

静岡県ベトナム人協会では、下記要領で、日本語教師のための講座を開催いたします。
前期から参加されている方、後期から新規参加される方、両方歓迎です。

記

○ プログラム（後期 全6回）

講師：袴田麻里 先生（静岡大学 国際交流センター 准教授）

第1回： 9月14日（土） 13:30～16:30 クリエイト浜松 51 会議室

第2回： 9月21日（土） 13:30～16:30 クリエイト浜松 54 会議室

講師：長島千夏 先生（浜松市国際協力推進員）

第3回： 10月 5日（土） 13:30～16:30 クリエイト浜松 22 会議室

第4回： 10月19日（土） 13:30～16:30 クリエイト浜松 22 会議室

講師：広瀬英史 先生（静岡文化芸術大学 文化政策学部 准教授）

第5回： 10月25日（金） 9:00～12:00 静岡文化芸術大学 北棟 530, 531 教室

第6回： 10月26日（土） 13:30～16:30 静岡文化芸術大学 北棟 5階 広瀬研究室

○場所： クリエイト浜松（浜松市中区早馬町2番地の1 TEL 053-453-5311）

静岡文化芸術大学（浜松市中区中央2丁目1-1 TEL 053-457-6111）

○対象： 日本語教育に興味のある方なら誰でも

○入場料： 無料 ※要参加連絡（当日の午前中までにご連絡ください）

○申込方法： 資料準備の都合上、参加ご希望の方は、お名前と連絡先、所属を
電話またはメールにて ご連絡願います

TEL:***-****-****(担当) E-mail:*****@***.***jp

○主催： 静岡県ベトナム人協会

○後援： 公益財団法人 浜松交際交流協会(HICE)

「平成25年度（2013年度）『生活者としての外国人』に対する日本語教師のための講座」
アンケート結果 まとめ

2014年5月 静岡県ベトナム協会

方法について

日本語教師のための講座の参加者(20名)に、記名式で、アンケートを実施した。

問1 今回の日本語教師のための講座の情報入手先。

- 1、HICE（浜松国際交流協会） 12名 2、知人、友人、先生 8名

問2 日本語教育との関わり この講座への意見、感想

- 1、プロの日本語教師 10名 2、ボランティアの日本語教師 4名
3、日本語教師志望 5名 4、その他 1名

問3 「日本語教師のための講座」の評価。

- 1、とてもよかった 17名 2、よかった 3名

問4 「日本語教師のための講座」の理解度。

- 1、だいたい理解 14名 2、全部理解 5名 3、半分理解 1名

問5 「日本語教師のための講座」が役に立つか。

- 1、とても役に立つ 12名 2、役に立つ 5名 3、少し役に立つ 3名

問6 この講座への意見、希望など。

- （西原先生）・最近の日本語教育の動向がよくわかる。現状がわかる。
・幅広い内容だった。楽しい内容だった。
・具体的なカリキュラムの作り方がわかった。

- （岩見先生）・わかりやすい説明をいただいた。
・対話練習で、おしゃべりとディスカッションの違いがわかった。
・対話の重要度、方法、注意点がよくわかった。

- （袴田先生）・ロールプレイを考えて行う授業は、参考になった、
・具体的な教え方の学習はおもしろかった。

- （長島先生）・ミクロネシアで日本語を教える話は、おもしろかった。
・文化面の話もあり楽しかったです。

- （広瀬先生）・実際、学生による授業の様子を見ることができ、大変有用でした。
・日本語を学ぶ学生や、日本語を教えている先生からのアドバイスが良かった。

アンケートのまとめ

- ・参加人数平均10名という少人数の講義であったが、各先生方が熱心に教授いただいた成果によって、高い評価ならびに、役に立つ講座との評価を得た。
・「生活者のために日本語を教える」という視点で、各先生方が、単に日本語を教えるだけでなく、日本の文化や、日本人の考え方などを教えていただいたのがよかったとの評価を得た。